

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 28. 11. 22 第 192 回国会第 3 号

11 月 22 日（火）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・山本農林水産大臣、齋藤農林水産副大臣、務台内閣府大臣政務官、細田農林水産大臣政務官、矢倉農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

築 和 生君（自民）

- ・規制改革推進会議農業ワーキング・グループ（以下「農業WG」という。）による牛乳・乳製品の生産・流通等の改革に関する意見に対する生産現場の懸念について農林水産大臣はどのように認識しているのか。
- ・財政制度等審議会が飼料用米に係る予算の削減を示したことに対し、農林水産省は、水田を維持することの重要性について反論すべきではないか。
- ・水田活用の直接支払交付金の安定的実施や予見可能性のある農政の展開に向けた農林水産省の考えを伺いたい。

真 山 祐 一君（公明）

- ・農業WGの農協改革に関する意見は、「農林水産業・地域の活力創造プラン」や平成 27 年の農業協同組合法等の一部を改正する等の法律案に対する附帯決議等に示された考え方と整合性があると農林水産大臣は考えているか。
- ・本年 4 月の規制改革会議による生乳流通等の見直しに関する意見に対し農林水産省は懸念を示していたが、今回の農業WGの意見にその懸念は反映されているのか。
- ・福島県における営農再開支援について、パッケージで支援策を提示していくべきではないか。

吉 田 豊 史君（維新）

- ・ブランド米生産者にどのような支援を行っているのか。
- ・加工食品の原料原産地表示の義務付けは、消費者への情報提供とともに国産のブランド力を高める上でも重要と考えるが、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・需要が増加している外食においても米のブランドを重視するべきであり、外食産業と米生産者との連携を強化するべきではないか。

金 子 恵 美君（民進）

- ・農業WGの農協改革に関する意見について農林水産大臣はどのように考えているのか。また、JAのあるべき姿についてどのように考えているのか。
- ・福島相双復興官民合同チームの体制強化に当たり、農業に特化した技術的、専門的なチームの立上げを検討すべきではないか。
- ・鳥獣被害対策として捕獲等をした鳥獣の皮革製品としての活用推進に向け、農林水産省はどのように取り組んでいくのか。

岡 本 充 功君（民進）

- ・農業WGの農協改革に関する意見は、平成 27 年の農業協同組合法等の一部を改正する等の法律案に対する附帯決議に沿ったものであると農林水産大臣は考えているのか。
- ・農林水産省はいつ頃までに農業WGの意見への対応を行うのか。
- ・自由貿易が進展することにより、食料自給率は低下する傾向にあるのか。

佐々木 隆 博君（民進）

- ・トランプ次期米国大統領が、就任初日にTPP協定を離脱する旨を表明したことを受けて、農林水産大臣はどのように考えるのか。
- ・北海道では 11 月の積雪により、大豆等の収穫が困難な状況になっていることから、特別な対策を講じる必要があるのではないか。
- ・農業WGが意見をまとめる過程において、協同組合についてどのような議論があったのか。

斉 藤 和 子君（共産）

- ・農業WGの農協改革に関する意見に対して、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・農業機械の価格低下に向けてメーカーの販売努力を求め

ることも必要ではないか。

- ・スクミリングガイ（俗称：ジャンボタニシ）による被害が拡大しないよう、早急な対策を講じる必要があるのではないか。

畠山和也君（共産）

- ・鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号）を改正し、

猟銃所持許可更新時の技能講習の免除期限を延長してきたことにより、狩猟者数の減少に歯止めがかけられてきたのか。

- ・中山間地域対策の側面から鳥獣被害対策について、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・鳥獣被害対策は農政全般に関わる総合的な対策として位置付けられると考えられるため、実施に当たっては農林水産大臣のイニシアティブが必要ではないか。

2 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律の一部を改正する法律案（参議院提出、参法第52号）

- ・提出者参議院農林水産委員長渡辺猛之君（自民）から提案理由の説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成—自民、民進、公明、共産、維新、仲里利信君（無））
- ・宮腰光寛君外4名（自民、民進、公明、共産、維新）から提出された附帯決議案について、小山展弘君（民進）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成—自民、民進、公明、共産、維新、仲里利信君（無））